

倫理講義 8 市民社会の倫理 ホブズ・ロック・ルソーなど

得点源 社会契約説は、ホブズ、ロック、ルソーの自然状態、自然権、社会契約の仕方、支持した政治スタイルの違いをしっかりと理解すること！

人物	ホブズ	ロック	ルソー
主著	『リヴァイアサン』	『市民政府二論』	『社会契約論』
自然状態	戦争状態	自由・平等・平和な状態	自由・平等・平和な状態
自然権	自己保存の権利 自由・平等の権利	自己保存の権利 所有権、 抵抗権	自己保存の権利 所有権
契約	自然権を全面譲渡	自然権の一部を信託	一般意志に全面譲渡
政治体制	絶対君主制	間接民主制	直接民主制

つまり、

- ホブズ**… 自然権とは **人間が生まれながらに持っている権利**。ホブズの場合、**自己保存の権利**（生命と安全を維持する権利）と**自由・平等の権利**のこと。ホブズは自然権を一人の君主あるいは合議体へ全面譲渡することを主張する。自然権を全面譲渡された君主は絶対的な力をもって、譲渡した人々の自然権を保障する。しかも、いったん譲渡した権利は取り戻せない。キーワード→戦争状態だから、**万人の万人に対する戦い**！
- ロック**… 自然権とはおもに**所有権**を指す。自然権の一部（所有権など。抵抗権は譲渡しない）を政府に信託し、政府によって自然権を保障してもらう。もし、政府が自然権を侵害した場合、手放していない**抵抗権**を使い、これに抵抗する。
- ルソー**… 自然権を一般意志（公共の利益を目指す誤りのない意志のこと）の下に譲渡し、一般意志によって自然権を保証してもらう。

参考 特殊意志… 自己の利益を求める意志。

得点源 啓蒙思想は、モンテスキューの三権分立とヴォルテールの「寛容の精神」デイドロの『百科全書』を理解しよう！

1 **啓蒙思想**… 迷信・偏狭・狂信を批判し、理性を重視する立場。

2 **モンテスキュー**

立法権… 法律を制定する権限。

三権分立 **執行権(行政権)**… 法律にてらして実際の政治を行う権限。

裁判権(司法権)… 問題を裁く権限。

3 **ヴォルテール** 著作『**哲学叢書**』

理性をフルに活用して、悪しきものと善きものを区別しろ

恥ずべきものを排除し、善きもので満たされた世界をつくれ。

↓ (恥ずべきものとは何か?)

“無知・迷信・虚偽・狂信” (特に、キリスト教への狂信を徹底的に批判)

↓

ヴォルテールは、「**寛容の精神**」を打ち出し、宗教的偏狭を批判。

つまり、**ヴォルテール**は、**理性(判断能力)**を働かせて、「善と悪を区別しろ」といった。悪しきものは恥ずべきものなので、すべて排除すれば、善き世界ができあがると考えた。恥ずべきものは、ものを知らないこと、迷信を信じること、嘘をつくこと、宗教にのめりこむこと。特に、キリスト教を信じ切って、キリスト教に反するものをすべて否定し、果てはその教義を徹底するために戦争までおこす。そんな狂信を徹底的に批判し、かわって「**寛容の精神**」(宗教的寛容のこと)を主張した。

4 **デイドロ**… 百科全書派

『百科全書』(フランス啓蒙思想の集大成)を編集した中心的人物。

↓

18世紀当時の全人類の知識体系を新たに分類し、構成し直したもの。

センター過去問演習

2012 本試 倫理・政経 社会契約説

近代の社会契約説についての記述として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- 政府と人民の関係は、神と人間、親と子、夫と妻の間にみられるような愛情と信頼に由来する。
- ホブズによれば、各人は自らの生命と安全を確保するために、主権者に自然権を譲渡することなく国家の運営に参加する必要がある。
- 国家は人為的な産物ではなく、歴史の中で長く受け継がれてきた伝統を通じて形成される。
- ロックによれば、人民の信託を受けた政府が人民の生命・自由・財産の権利を侵害した場合、人民には政府に抵抗する権利がある。

正解→④

本試 自然状態

自然状態に言及している思想家たちの著作の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- 『リヴァイアサン』には、自然状態にある人間は一般意志に従い自由で平和に暮らしていたとある。
- 『統治論』には、自然状態は理性的な自然法が支配する平和な状態だとある。
- 『人間不平等起源論』には、自然状態における人間の一生は「きたならしく、残忍で、しかも短い」とある。
- 『社会契約論』には、自然状態は各自が自己保存の権利を恣意的に追求する闘争状態だとある。

正解→②

18世紀絶対王政の時代

18世紀絶対王政の時代のフランス社会を批判した思想家についての記述として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

Pain is inevitable Suffering is optional

- ① デイドロは、様々な国家制度を比較し、立法権・執行権・裁判権が互いに抑制と均衡をはかるシステムの重要性を認識し、それを欠いたフランスの専制政治を批判した。
- ② モンテスキューは、フランス政府からの度重なる発禁処分にもかかわらず、様々な学問や技術を集大成した著作を出版するとともに、人民主権の立場から、封建制を批判した。
- ③ ヴォルテールは、書簡形式の著作において、イギリスの進歩的な政治制度や思想をフランスに紹介することを通じて、フランスの現状が遅れていることを批判した。
- ④ パスカルは、人間が生まれながらにもつ自然な感情である憐れみの情が、文明の発展とともに失われていくと分析し、不平等と虚栄に満ちたフランス社会を批判した。

正解→③